

令和元年度 行政評価調書

総合計画 吹田市第4次総合計画

評価対象年度 平成30年度

大綱 4 子育て・学び

政策 4 生涯にわたり学べるまちづくり

施策 1 生涯学習活動の支援

施策 2 生涯学習環境の整備

提出日 令和元年 7月 19日

提出取りまとめ 地域教育部

第4次総合計画 施策の評価シート

大綱 4 子育て・学び

政策 4 生涯にわたり学べるまちづくり

評価対象年度 平成30年度

<取組内容>

施策	基本計画本文
施策を構成する管理事業	施策の取組状況
4-4-1 生涯学習活動の支援	あらゆる世代の生涯学習活動を支援するため、大学などの関係機関との連携や地域の人材の活用を通じて、さまざまな講座を実施するなど、学習機会の充実を図るとともに、市のホームページや「市報すいた」などにより、学習に関する情報提供を行います。また、学習の成果が地域社会へ還元されるような取組を進めます。
1 生涯学習事業 2 3 4 5 6 7 8 9 10	生涯学習事業として実施する講座の一つである市民大学講座のうち、市内3大学との連携講座では、現代社会を多面的に分析し、成人層の文化・教養を深めることを目的とした内容で実施し、延べ1,578人が受講しました。市民大学特別講座は、3地区の公民館で心と体の健康増進を目的に実施し、延べ272人が受講しました。また、健都レールサイド公園オープンを記念する事業として、地域教育部職員が連携し、吹田市内の史跡、文化財に親しみながら健康増進も図ることを目的に、すいた歴史ウォーキングを実施し、23人が受講しました。策定時実績と比較し、総受講者数が下回っている要因としては、大学連携講座の結果的受講者数の減少、特別講座の実施方法の見直し等が考えられます。今後も大学連携講座については、各大学と相互の協力関係を維持しながら、規模・内容について、より満足度の高い内容を目指し協議を重ねてまいります。また、特別講座についても市民にとって現代的課題となる様々な問題、関心のあるテーマに実生活ない社会において、身につけた知識・技能を役立て、発揮していけるような講座を提供してまいります。
4-4-2 生涯学習環境の整備	だれもが身近な場所で気軽に学習できるよう、図書館や地区公民館などの学習施設のサービスの充実を図るとともに、施設間の相互の連携を強化します。
1 公民館事業 2 図書館事業 3 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・吹田市の地区公民館は、各小学校区に1館ずつ設置されています(ニュータウン地域は除く)。「歩いて行ける身近な学びの場」としての利点を活かし、魅力的な講座を企画しています。講座内容も趣味・教養に偏ることなく現代的な課題や地域の問題に対応した講座を企画していくとともに、部内に専門知識をもった職員が多くいる利点を生かし、引き続き連携して高齢者ストレッチや図書、地域の歴史を提供し、「専門施設に行かなくても近くでさまざまなことが学べる」地区公民館づくりをさらに推進してまいります。 ・中央図書館は耐震診断の結果を受けて耐震改修工事の設計等を進めました。平成31年4月より施設を閉館し令和2年秋の再開を目指しています。 ・岸部地区の図書館として、健都(北大阪健康医療都市)内での図書館整備が進みました。条例改正により名称、分館としての位置づけ、公園との一体管理が決定し、令和2年11月の供用開始予定です。 ・北摂7市3町での図書館の広域利用に続き、要望の多かった江坂図書館での大阪市民利用が開始しました。 ・施策指標2の「図書館の年間入館者数」について、前年度より数値は下回っていますが、新規登録者数は増えています。また、健都ライブラリーの整備も順調に進んでいることから、最終年度には目標を達成する見込みであるため、進捗状況は「B」としました。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	

